

みんなで育てよう地域の子ども
～明るく元気な家族・地域・人づくりを目指して～

活動の名称 旭志地域「家族の日」チャレンジ
団体等の名称 熊本県 地域教育支援旭志ネットワーク会議

- 活動に含まれる（連携している）団体等**
- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 ■ 中学校 □ 高等学校 □ 中等教育学校 □ 特別支援学校
 - 児童館 ■ 公民館 □ 図書館 ■ PTA □ 子育て・教育支援団体、NPO □ 企業・事業所
 - 病院・保健所 □ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
 - 行政（教育委員会） ■ 行政（保健・福祉部局） ■ 行政（その他の部局 教育事務所）
 - その他（区長、民生児童委員、主任児童委員、地域教育コーディネーター）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

本地域では、家庭・学校・地域の連携のもと社会全体の教育力を向上するための啓発事業やネットワークづくり等に取り組んでいる。そのような中、本会議を立ち上げ子ども達の健やかな成長のための連携協力について協議し、推進の工夫を行っている。これまで学校や園ではノーテレビ・ノーゲームデーの取組が継続されている。「家族の日」は、家族全員のコミュニケーションを深め、互いに目を向けていくことで家族が一層つながり合い、地域の子育ての輪が広がり、人々の絆を深めていこうという趣旨で取り組んでいる。

◆ 主な活動内容

○ ネットワーク会議

・年2回開催、チーム員として学校・保育園・幼稚園関係者、区長会長、民生児童委員、PTA、福祉行政等のメンバーで子どもの育ちの状況等について情報を共有し、対策について協議しながら「地域の子は地域で育てる」意識を高める会となっている。



○ 「家族の日」チャレンジカードの取組

・原則として年3回、「チャレンジカード」を配布し、1週間、家族で目標（「早寝早起き朝ごはん」「挨拶」「手伝い」「家族の団らん」「テレビの見方」など）を決め、毎日、実践のチェックを行っている。事後は提出された目標、反省等を家庭地域教育通信に掲載、配布することで取り組まれた家庭への賞賛と地域への一層の広がりやを促している。

- ・朝の挨拶、笑顔でおはよう
- ・家族時間を豊かに有意義に

旭志地区「家族の日」チャレンジカード

※本会議で配布する「家族の日」チャレンジカードは、1週間（1月23日～1月29日）の取組を記録するためのカードです。毎朝、朝の挨拶、笑顔でおはよう、家族時間を豊かに有意義に過ごすことに取り組んでください。1週間（1月23日～1月29日）の取組を記録するためのカードです。毎朝、朝の挨拶、笑顔でおはよう、家族時間を豊かに有意義に過ごすことに取り組んでください。

家族の「家族の日」	月	日	朝	夜			
目標	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29
達成したか(○/△)							
反省したこと(○/△)							
で喜ばしたこと(○/△)							

※本会議で配布する「家族の日」チャレンジカードは、1週間（1月23日～1月29日）の取組を記録するためのカードです。毎朝、朝の挨拶、笑顔でおはよう、家族時間を豊かに有意義に過ごすことに取り組んでください。

○ 「親の学び」講座等の実施

・保育園、幼稚園、小学校、中学校等で、くまもと「親の学び」プログラム～子育ては親育ち～の講座等を、保護者や祖父母等を対象に実施し、基本的な生活習慣の確立を図るなどの子育てについての学習機会を設けている。

○ ノーテレビ・ノーゲームの取組

・毎月第2週目を、幼保小中連携主催のノーテレビ、ノーゲーム週間とし、旭志地区全体での取組としている。「ノーテレビ」という言葉も定着し、TVを消している時間を家族の団らんや読書の時間に充てている家庭が見られる。また、園や学校での出来事を積極的に話す子ども達も増えてきている。

2月 かしこく育て、旭志の子 生活習慣実践シート

※このシートは、ノーテレビ・ノーゲームの日を記録するためのシートです。毎朝、朝の挨拶、笑顔でおはよう、家族時間を豊かに有意義に過ごすことに取り組んでください。1週間（2月13日～2月19日）の取組を記録するためのシートです。毎朝、朝の挨拶、笑顔でおはよう、家族時間を豊かに有意義に過ごすことに取り組んでください。

日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
朝の挨拶	○	○	○	○	○	○	○
笑顔でおはよう	○	○	○	○	○	○	○
家族時間を豊かに有意義に過ごす	○	○	○	○	○	○	○
ノーテレビ・ノーゲーム	○	○	○	○	○	○	○
朝ごはん	○	○	○	○	○	○	○
手伝い	○	○	○	○	○	○	○
家族の団らん	○	○	○	○	○	○	○
テレビの見方	○	○	○	○	○	○	○
反省したこと							
で喜ばしたこと							

◆ 活動の成果と今後の展望

○豊かな家庭づくりは地域社会づくりの基盤となる。「家族の日」チャレンジカードやノーテレビデー等、一つ一つの取組を積み上げながら大人が学び、成長していく環境の整備等の支援、工夫をさらに努め、育ちゆく子ども達を地域で見守っていかねばならない。
○「親の学び」講座等を実施してみると、日ごろの子育てについての会話が盛り上がるシーンが多々見られる。子育てにかかる家庭や社会の状況は多様な現代である。親(大人)同士のつながりが深まるような学びの機会を様々に設けていくことが大切である。

